

発行……吉原市役所  
吉原市今泉43の1(電②8111)  
編集……市長公室

# よしあら

市民の動き

(7月31日現在)

男	……	45,579
女	……	44,822
計	……	90,401

世帯数 …… 20,294

## ゴミ処理を考えよう

### 収集に“ご協力を”

いま市が、いちばん頭を悩めている問題に「ゴミ処理」があります。ゴミは人間生活がうみだす副産物で、文明が進み、生活が豊かになればなるほど、ゴミ量はふえるといわれます。しかし、私たちはゴミの増産ばかりは「出るものは出す」と無関心ではいられないのです。ゴミは人間の必要悪です。私たちはお互いが協力しあつて、ゴミの量を減らすように、つとめてほしいものです——

それでは「ゴミ」の実態をみてみましょう。現在市内一万三千のゴミ箱から出される量は、一日約三十三トン、昭和三十七年の約二倍、昭和三十八年五月清掃作業所が操業をはじめた当時の約一・七倍という増産ぶりです。何トンといつてピンとこなければ小学校にある二十五リールが

いづばいになるのが一日の集定です。このゴミを集めるために、市内を走りまわつて

いる清掃車は八台、作業員は三十二人で一日平均

三回の収集を行なつてい

ます。普通でも多いとい

ろへ、夏期に入つてゴミ

## (1日のゴミ量) 25メートルプールにいつぱい 水分あるものは紙に包む

作業員のYさんは「収集にいつぱいにはなつた。いのは、ゴミ箱をあけたとたん、悪臭が鼻をつき、私たちの作業能率をさげることです。ゴミ箱はドブタメではないはず。水分の多いものは新聞紙に包んで、散らばらないようにバケツなり箱に入れてほしいものです」

ところで、ゴミ処理についての要約のなかで、いちばん多いのは収集の問題があります。「たしかに、いまの収集回数では少ないと思つていますが、私たちの理想は週二回ですが、現状のような個別収集方法では能率をあげるのには困難です。ポリバケツは、ぜひ一定の場所へ出してほしい。清掃車は終日フル作業をしていますが、もし長く収集に行かないようなときは直接衛生課へ電話をほしい」と衛生課長は、みんなに協力を呼びかけています。

清掃作業は、みなさんの

量はますます増え、それに加えて、ゴミ箱へ台所の水分の多い、残飯をそ

### お願い

- 衛生課では、紙クズ、せともの、ビン、空かんなど、どんなゴミクズでも集めますので、みなさんも次のことをかならずまもつてください。
- ① ゴミは、ゴミ容器（ポリバケツ、ゴミ箱）にいれる
  - ② 水分のあるゴミは、よく水を切つて、ビニール袋か新聞紙につつんで容器にいれる
  - ③ ゴミ容器は、定時に集積場に出し収集後はすぐにもちかえる
  - ④ ゴミ容器の数は、ゴミの量に応じて備える
  - ⑤ こわれている容器はとりかえる
  - ⑥ せともののかげら、ビン、空カンなどは、ゴミ箱に捨てないでかならず別にする
- ※ゴミ処理で困るときは、衛生課へ電話を。②三一一番、内線七、十二、十三番

ゴミが文化を計るパロメーターとするならば、それをよりよく処理し、住みよい環境にするのが文化人のつとめというものではないでしょうか。